

2021年7月8日

各 位

学校法人 聖ヶ丘学園
理事長 渡邊慶信

本学園学生及び教職員とそのご家族等を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種について

本学園は、職域での新型コロナワクチン接種を開始する政府の方針を受け、新型コロナウイルス感染症の収束への社会的要請に応えるとともに、豊かな学びの機会や日常を取り戻すため、6月8日から学生及び教職員とそのご家族等を対象に新型コロナワクチン職域接種アンケートを実施しました。そして、職域接種アンケート結果を基に利害関係が一致する他の学校法人様と7月8日から合同職域接種を開始するため、6月18日に聖ヶ丘教育福祉専門学校体育館を会場として関係省庁への申込を完了しておりました。しかし、6月24日関係省庁の予防接種担当者から「7月8日、9日、10日に実施する本学園の合同職域接種にモデルナ製ワクチンを供給できない」との連絡があり、その後一部日程と実施内容を変更し、7月17日から合同職域接種を開始するため、協力医療機関等と安心・安全なワクチン接種に向け、準備を進めておりましたが、7月1日再度関係省庁の予防接種担当者から、「17日以降もモデルナ製ワクチンを供給ができない」との連絡がありました。その後の政府の発表や各種報道により、8月9日以降でなければ職域接種の実施が難しいことが判明し、本学園としては、「東京オリンピック開会式までに新型コロナワクチンの接種する機会を学生及び教職員とそのご家族等に提供する」ということを目標としておりましたが、当初の目標達成が困難であることから、本学園の新型コロナワクチン職域接種の実施を断念することとなりました。

そこで、本学園としてはクラスター発生を未然に防ぐために5月中旬より月2回の定期的なPCR検査（「新型コロナウイルスモニタリング検査」教職員対象）を実施していますが、7月以降も継続するとともに新型コロナワクチン接種を独自に加速させることを次の目標とし、長年の取引先である(株)レオック様のご厚意に預かり、系列である ONODERA GROUP の職域接種に希望する本学園学生及び教職員とそのご家族等の申込をご承諾いただきました。すでに7月5日から21日までの期間で1回目の接種が順調に行われておりますことをご報告いたします。

以上